

## 採 集 ノ ー ト (9)

渡 辺 定 路\*

本資料は、筆者によって発見確認された福井県の高等植物のうち、福井県植物誌出版後、現在までに新たに確認されたものの一部である。記載順は、学名、和名、産地、採集年月日、標本番号などである。同定に際しご指導頂いた村田源、角野康郎、中池敏之、門田裕一、西川恒彦、芹沢俊介、野口達也の各先生に心から御礼を申し上げる。

### BOTRYCHIACEAE ハナワラビ科

1) *Sceptridium nipponicum* (Makino) Holub アカハナワラビ

大飯郡高浜町青葉山(1973,10.1 No.15731), 南条郡河野村河内(1978,11.23 No.15933), 勝山市遅羽町ヨモギ坂(1982 齊藤芳夫氏採集)

本州(東北・関東に多く、中部・近畿・中国に点在)、四国、九州に生息、中国にも分布。冬緑性。共通柄は短く長さ2~6cm、胞子の表面は微細な畝状隆起が網目を形成する。外見はオオハナワラビに似る。やや日当りのよい林下に生育。葉は冬期紅変する。小羽片の裂片は通常鋭頭。

### ASPIDIACEAE オシダ科

2) *Athyrium pinetorum* Tagawa タカネサトメシダ

南条郡今庄町夜叉ケ池(1983,8.13 No.23608,23611,23628), 大野郡和泉村荷暮(1991,8.13 No.34227)

本州(福井県今庄町夜叉ケ池以東)、四国(剣山)に生育。

葉柄は葉身と同長またはやや長く、緑色ときに淡茶褐色。羽片は中央部の幅が広くなり、基部の小羽片はやや短くなる。葉身の中部から上の方では、羽片の基部の小羽片ははっきりと外先(下先)につく。ソーラスは中肋に接して着く。良く似ているコシノサトメシダは、羽片基部の小羽片は対生する。

### BETULACEAE カバノキ科

3) *Corylus sieboldiana* Blume var. *brevirostris* C. K. Schn. トックリハシバミ

勝山市小原峠~大長山(1990,8.19 No.32704)

北海道、本州(北中部)に生育、朝鮮の温帯にも分布。

\* 〒910 福井市若杉町35-21 福井県立道守高等学校

総苞の嘴の部分がツノハシバミより短く、果壺(膨らんだ部分)と同長位のもの。

FAGACEAE ブナ科

- 4) *Fagus crenata* Blume f. *grandifolia* Hayashi オオバブナ

今立郡池田町部子山(1989,7.28 No.31570), 勝山市越前兜(1990,7.1 No.32575)  
本州(日本海側)に生育。  
基本種より葉が大きく、長さは11~16cm。

POLYGONACEAE タデ科

- 5) *Persicaria hastato-auriculata* (Makino) Nakai ホソバノウナギツカミ

坂井郡金津町東山(1991,7.31 No.34090), 金津町後山(1991,7.31 No.34093)  
本州(日本海側~福井県以西, 関東以西), 四国, 九州に生息, 朝鮮, 中国, 台湾に分布。  
茎には下向きの刺毛があり, 葉は線状披針形, 耳部は下へ曲がる。

- 6) *Persicaria yokusaiana* (Makino) Nakai f. *laxiflora* Hiyama ナガボハナタデ

大野市経ヶ岳(1991,9.21 No.34565), 大野市荒島岳(1989,9.17 No.31725, 31725), 三  
方郡美浜町折戸谷(1986,9.23 No.28960), 遠敷郡名田庄村榎谷(1991,10.6 No.34674)  
花穂は10~11cmと長く, 花は甚だ隔たってつく。

PORTULACACEAE スベリヒユ科

- 7) *Portulaca pilosa* Linn. ヒメマツバボタン(ケツメクサ)

敦賀市敦賀(1989,10.25 No.31987) 竹中淳三氏採集  
熱帯アメリカ原産の帰化植物。本州中部以南の沿海地に多い。  
葉の基部にはちぢれた長い白毛が束生し, 枝頂では葉はやや輪生状となり数個の花を抱く。

CARYOPHYLLACEAE ナデシコ科

- 8) *Spergularia rubra* (Linn.) J. et C. Presl ウスベニツメクサ

敦賀市敦賀(1989,6.14 No.31218)竹中淳三氏採集, 吉田郡永平寺鳴鹿堰堤上流河川敷  
(1992,7.28 No.35815)  
北半球の温帯から亜寒帯の海岸砂地に生じ, 日本では北海道から千葉県の海岸の湿地, 路  
傍に生育。帰化によるものと考えられる。

- 9) *Stellaria diversiflora* Maxim. f. *robusta* Mizushima オオサワハコベ

大野市下打波(1990,5.13 No.32224), 大野市経ヶ岳(1990,6.11 32396), 勝山市杉山  
(1990,7.8 No.32367), 坂井郡丸岡町丈競山(1992,4.26 No.35124), 坂井郡金津町清滝  
(1989,5.1 No.33431)  
本州(北陸地方)に生育。

茎は太く径1.5~2.5mm。葉は長さ約4.5cm, 幅約3cmにも達し, 一見ミヤマハコベに似ている。しかし, 茎と花柄の一侧に毛の列がなく, 萼片は花弁より短く・鋭尖頭で無毛である。

RANUNCULACEAE キンポウゲ科

10) *Aconitum japonicum* Thunb. subsp. *ibukiense* (Nakai) Kadota イブキトリカブト

大野市温見(1973,9.29 No.12702), 今立郡池田町冠山(1970,9.12 No.10155.: 1986,10.14 No.29261), 今立郡池田町持越(1985,9.23 No.27424), 今立郡池田町部子山(1983,9.18 No.23814), 南条郡今庄町夜叉ヶ池(1986,9.14 No.28870, 28878), 南条郡今庄町岩屋(1964,8.2 No.8563), 南条郡今庄町藤倉谷(1990,9.16 No.33201, 33210, 33212), 南条郡今庄町高倉(1990,9.16 No.33215), 南条郡今庄町宇津尾(1991,9.15 No.34526, 34530), 南条郡今庄町瀬戸(1987,10.9 No.30211), 南条郡今庄町栃木峠(1986,9.14 No.28885), 福井市高須(1970,10.23 No.10161), 敦賀市野坂岳(1975,8.20 No.13428,: 1986,9.27 No.29026, 29027), 三方郡美浜町折戸谷(1986,9.23 No.28964), 三方郡美浜町粟柄谷(1968,9.29 No.7271,: 1986,9.23 No.28933), 三方郡美浜町中筋(1989,10.10 No.31902), 三方郡美浜町新庄(1989,10.10 No.31908, 31921)三方郡美浜町浅ヶ瀬(1979,10.9 No.17960), 三方郡三方町梅丈岳(1964,10.17 No.14069), 三方郡三方町三十三間山(1973,9.16 No.12692, 12693), 遠敷郡上中町新道(1979,9.24 No.17638), 遠敷郡上中町河内(1983,10.11 No.24046.: 1988,10.2 No.30839)

本州(福井県・岐阜県・滋賀県・京都・兵庫県・奈良県)に生育。

花梗に屈毛が密生する。福井県植物誌のキタヤマブシと同じものである。

11) *Aconitum zigzag* Lev. et Van' t. subsp. *ryouhakuense* Kadota リョウハクトリカブト

大野市三ノ峰(1960,7.21 No.172,: 1961,7.26 No.804,: 1967,8.17 No.4118,: 1972,9.23 No.9731), 大野市経ヶ岳(1967,10.10 No.7016,: 1971,10.3 No.11746, 11758, 11776.: 1975,9.24 No.13437, 13440,: 1981,9.8 No.22009,: 1984,9.24 No.25892,: 1989,9.24 No.31814, 31817, 31818), 大野市荒島岳(1965,8.29 No.4919, 5002,: 1968,6.2 No.5744,: 1977,9.18 No.14794, 14825, 14827, 14828,: 1979,8.31 No.17130,: 1989,9.17 No.31704, 31705, 31706), 大野市能郷白山(1989,8.13 No.31625), 大野市銀杏峰(1990,8.12 No.32886,: 1990,8.30 No.32989), 勝山市小原峠(1979,8.13 No.16886,: 1990,8.19 No.32745), 勝山市法恩寺山(1968,9.23 No.16056), 勝山市一本松(1962,8.17 No.14068), 勝山市大日峠(1985,9.15 No.27206), 坂井郡丸岡町丈鏡山(1962,9.30 No.8756), 今立郡池田町部子山(1983,9.18 No.23830)。花梗は無毛, 本州(白山から能郷白山)の山地に生育。

福井県植物誌のサンヨウブシの大部分はリョウハクトリカブトである。

12) *Adonis multiflora* Nishikawa et Ko. Ito ミチノクフクジュソウ

勝山市木根橋(1974,5.3 No.12884, : 1979,3.31 No.16125, : 1990,3.21 No.31999, : 1990,4.15 No.32000)

本州(青森県・秋田県・岩手県・長野県・岐阜県・福井県), 九州(大分県, 熊本県)に生育。現在の植物図鑑でフクジュソウを見ると, フクジュソウ1種であるが, 西川恒彦氏の研究により, 日本の野生のフクジュソウは, ミチノクフクジュソウ(2n=16), フクジュソウ(北海道・本州・四国 2n=32), キタミフクジュソウ(北海道以北 2n=16)の3種あることが判明。本県のフクジュソウは1茎に多花をつけ, 萼片は花卉より短く, 茎は中空で, 果実は球形であることから, ミチノクフクジュソウであることが確認された。

13) *Clematis apiifolia* DC. var. *bitemata* Makino コボタンズル

大野市勝原(1989,6.12 No.31290), 大野市荒島岳(1989,9.17 No.31726), 大野市中島(1991,8.17 No.34207), 勝山市河合(1990,8.1 No.32747), 遠敷郡名田庄村一ツ谷(1990,10.10 No.33272)。本州(中部地方)に生育。ボタンズルの葉が2回3出するもの。

BERBERIDACEAE メギ科

14) *Epimedium sempervirens* Nakai et F. Maek. var. *rugosum* (Nakai) K. Suzuki オオイカリソウ

大飯郡高浜町青葉山(1990,4.24 No.32114紫), 遠敷郡名田庄村一ツ谷(1982,4.18 No.21000), 遠敷郡上中町堤(1991,4.28 No.33601紫), 三方郡三方町藤井谷(1991,4.14 No.33505紫, 33506紫), 三方郡三方町北前川(1991,4.14 No.33516紫, 33517紫), 敦賀市縄間(1991,4.14 No.33528紫, 33529紫), 敦賀市池ノ河内(1990,5.3 No.32158紫), 今立郡今立町岡本神社(1990,4.6 No.32047紫), 今立郡池田町籠掛(1991,5.18 No.33713紫), 吉田郡永平寺町浄法寺(1991,4.29 No.33536白), 越坂峠付近(1991,4.7 No.33537白), 勝山市岩屋81991,4.21 No.33550~33552白), 勝山市上野(1991,4.21 No.33551白, 33552紫), 勝山市比島(1991,4.21 No.33538白)。本州(福井県以西の日本海側)に生育。

オオイカリソウはトキワイカリソウ(花は基本的には白色, 距は18mm以下)より花は大きく, 距は長さ18mm以上で紅紫色(ときに白色)のものである。福井県にはトキワイカリソウとオオイカリソウの中間形のものがあり, 勝山市・永平寺町など各地の白色のものにはどちらか判断しにくいものがある。

PAPAVERACEAE ケン科

15) *Macleaya cordata* (Willd.) R. Br. var. *thunbergii* (Miq.) Miq. ケナンチャンバギク

大野郡和泉村荷暮(1991,8.13 No.34225), 勝山市谷(1991,8.17 No.34201)

タケニグサの葉裏が無毛のもの。本州, 九州に生育。

ROSACEAE バラ科

- 16) *Duchesnea* × *hara-kurosawae* Naruhashi et Sugimoto アイノコヘビイチゴ  
丹生郡越前町梨子ケ平(1989,5.4 No.31140,31146), 坂井郡丸岡町近庄(1989,4.26  
No.31116), 南条郡河野村甲楽城(1989,6.11 No.31236)  
ヘビイチゴとヤブヘビイチゴの雑種
- 17) *Potentilla* × *echizensis* Naruhashi et T. Sato エチゼンキジムシロ  
大野市荒島岳(1968,6.2 No.5722, :1989,4.26 No.31113)  
本州(福井県荒島岳)に生育。  
エチゴツルキジムシロとミツバツチグリの雑種。外部形態は両者の形質がでていて、上部の3  
枚以外の小葉はあまり発達しない。根は太く長い。
- 18) *Prunus jamasakura* Sieb. ex Koidz. f. *viridiflora* Hara アオメザクラ  
丹生郡越前町梨子ケ平(1989,4.3 No.31077)  
ヤマザクラの芽, 萼, 花柄が緑色で, 花卉が白色のもの。全体無毛。
- 19) *Sorbus sambucifolia* (Cham. et Sch.) Roem. var. *pseudogracilis* C. K. Schn. ミヤマ  
ナナカマド  
大野市三ノ峰(1991,7.7 No.33979, :1992,8.4 No.35866)  
北海道, 本州(北中部の亜高山から高山)に生育。千島・樺太・カムチャッカ・沿海州に分  
布。落葉低木。タカネナナカマドより全体小型。葉は長さ7~11cm, 小葉は7~9個, 長  
さ1.5~4.5cm, 果実は長さ・幅ともに10mmと小さい。

LEGUMINOSAE マメ科

- 20) *Lespedeza pates* Nakai f. *macrantha* Hatusima タテヤマハギ  
吉田郡永平寺町浄法寺山(1984,9.11 No.25695), 勝山市岩屋(1984,9.15 No.25795,25796),  
福井市杉谷(足羽高校横)(1984,9.22 No.26392), 大野郡和泉村入谷(1990,9.24 No.33235)  
本州(奥羽, 北陸, 滋賀)の低山から亜高山に生育。  
小枝に長い伏毛がある(立毛があればケハギ)。葉の表面は無毛または夏に脱落する毛があ  
る。葉は乾燥しても黒変しない(黒変すればヤマハギ)。

GERANIACEAE フウロウソウ科

- 21) *Geranium carolinianum* Linn. アメリカフウロ  
敦賀市敦賀(1989,6.14 No.31222)竹中淳三氏採集  
北米原産の帰化植物。現在は本州中部以南の平地に生育。

OXALIDACEAE カタバミ科

- 22) *Oxalis acetosella* Linn. var. *vegeta* Tatewaki エゾミヤマカタバミ  
大野市荒島岳(1989,5.30 No.31178, :1989,6.12 No.31279)  
コミヤマカタバミの大型になったもので、果は長楕円形で長さ6~8mm位になる。葉はヒョウノセンカタバミより小さい。

AQUIFOLIACEAE モチノキ科

- 23) *Ilex geniculata* Maxim. var. *glabra* Okuyama オクノフウリンウメモドキ  
勝山市大日山(1990,7.1 No.32557)  
フウリンウメモドキの葉裏が無毛のもの。取立山に次ぐ第2の産地である。本県はオクノフウリンウメモドキの西南限であろう。
- 24) *Ilex pedunculosa* Miq. f. *aurantiaca* (Koidz.) Ohwi キミノヨゴ  
坂井郡金津町刈安岳(1988,9.26 No.60983)  
果実は黄熟。

RHAMNACEAE クロウメモドキ科

- 25) *Rhamnus japonica* maxim. var. *japonica* エゾクロウメモドキ  
大野郡和泉村白馬洞(1965,8.9 No.4571), 大野市下打波(1991,7.23 No.34069), 坂井郡金津町山室(1991,7.31 No.34070,34071), 丹生郡越前町牛房ヶ平(1981,7.9 No.20489)  
本州(日本海側~鳥取県まで)に生育。  
北地の型で、葉の長さ5~10cm, 幅2~4cmと大きいもの。

GUTTIFERAE オトギリソウ科

- 26) *Hypericum perforatum* Linn. var. *angustifolium* DC. コゴメバオトギリ  
岐阜県郡上郡白鳥村和田山(1987,8.11 No.31069), 勝山市林道小原峠線(標高1000m付近)  
(1992,7.20 No.35762)  
欧州原産の帰化植物。

VIOLACEAE スミレ科

- 27) *Viola obtusa* (Makino) Makino f. *nuda* (Ohwi) F. Maekawa ケナシニオイタチツボスミレ  
大野市六呂師(1991,5.4 No.33636)  
全株無毛のもの。

ONAGRACEAE アカバナ科

- 28) *Oenothera speciosa* Nutt. ヒルザキツキミソウ  
敦賀市敦賀(1989,6.14 No.31219) 竹中淳三氏採集  
北米原産の植物。所々で栽培されていることから、観賞用のものが逸出したものと考えられる。
- 29) *Trapa bispinosa* Roxb. var. *makinoana* Nakano イボビシ  
坂井郡芦原町北瀉東(1991,8.10 No.34299)  
果実の下側の2刺が曲がるもの。

ERICACEAE ツツジ科

- 30) *Vaccinium uliginosum* Linn. クロマメノキ  
大野郡和泉村平家岳(1990,6.17 No.32451) 西限産地?  
本州(北中部), 北海道, 樺太, 朝鮮, シベリア, コーカサス, 欧州, 北米に分布。  
昭和8年の植物目録に, [越前国平家岳]\* と記載されているが, それ以後採集されていないので福井県植物誌からはずしたが, この度はからず56年ぶりに確認することが出来た。

PRIMULACEAE サクラソウ科

- 31) *Anagallis arvensis* Linn. アカバナリリハコベ  
敦賀市敦賀(1989,6.14 No.31220) 竹中淳三氏採集  
欧州・アジアの熱帯～暖帯原産の帰化植物。

LABIATAE シソ科

- 32) *Mosla japonica* (Benth.) Maxim. var. *thymolifera* (Makino) Kitamura アオヤマジソ  
坂井郡三国町梶(1990,9.14,9.30 No.33061)  
北海道, 本州, 四国, 九州に生育, 朝鮮南部にも分布。  
葉は卵形で, 茎と葉に開出毛があり, 葉の両面に疎毛がある。花は白色, 茎・萼は緑色である。絶滅危惧種。
- 33) *Scutellaria kiusiana* Hara ツクシタツナミソウ  
大野市蠅帽子川(1982,7.10 No.22643, :1982,7.11 No.22654), 大野市荒島岳(1989,6.12 No.31286, :1989,7.2 No.31360), 大野市中水谷(1978,7.30 No.15428), 勝山市暮見谷(1990,6.11 No.33430 松村敬二氏採集)  
本州(愛知県三河以西), 九州に生育。  
シソバタツナミソウより大型で, 葉は長卵形長さ2~4cm。花穂も長く伸びる。

- 34) *Scutellaria amabilis* Hara ヤマジノタツナミソウ  
坂井郡芦原町浜坂(1972,6.18 No.9806), 坂井郡金津町菅野(1982,9.26 No.22338, :1983,  
6.26 No.23168, :1984,6.5 No.24588, :1986,5.31 No.28233), 坂井郡金津町細呂木  
(1976,5.30 No.13817), 丹生郡朝日町岩開(1973,5.3 No.12275, :1981,6.6 No.20175),  
勝山市池ヶ原(1966,7.26 No.4727), 福井市森田(1981,6.13 No.20913), 福井市足羽山  
(1983,6.12 No.23200), 武生市鬼ヶ岳(1959,6. No.6542), 勝山市壁倉(1977,6.5  
No.14495), 大野市嵐(1964,6.12 No.7278), 大野市六呂師(1986,6.8 No.28340), 三方  
郡三方町三方湖畔(1977,6.18 No.14386)  
本州(関東・東海・三重・福井)に生育。  
福井県植物誌でエゾノタツナミソウとしていたものである。茎の稜に上向き細毛がある。
- 35) *Thymus quinquecostatus* Celakovsky f. *maritimus* Hara ハマジャコウソウ  
丹生郡越前町玉川(1973,6.20 No.12416)  
本州(伊豆・渥美・志摩の各半島)に生育。  
イブキジャコウソウの海岸型で、葉は厚くて広く、密生する。

SCROPHULARIACEAE ゴマノハグサ科

- 36) *Enphrasia insignis* Wettst. var. *Pubigera* Hara マツラコゴメグサ  
敦賀市岩籠山(1964,9.20 No.6790)  
本州(三重県大台ヶ原山)  
トガクシコゴメグサ(萼は長さ3mmほどで、花冠の長さは萼の3倍ほど)に似て、鋸葉は尖  
るが、全体が小さく、萼は長さ4mmほどで、花冠の長さは萼の2倍のもの。
- 37) *Linaria canadensis* (Linn.) Dum. マツバウンラン  
敦賀市敦賀(1989,6.14 No.31216)竹中淳三氏採集, 福井市若杉町(1992,4.27 No.36048)  
北米原産の帰化植物。都市部に多い。

CAMPANULACEAE キキョウ科

- 38) *Adenophora triphylla* (Thunb.) A. DC. var. *hakusanensis* (Nakai) Kitamura f.  
*chionantha* Mizushima シロバナハクサンシャジン  
今立郡池田町部子山(1986,8.9 No.28558)  
ハクサンシャジンの白花品。

COMPOSITAE キク科

- 39) *Ambrosia psilostachya* DC. ブタクサモドキ  
坂井郡金津町国際カントリー(1991,9.23 No.34549) 榎本二郎氏採集  
北米原産の帰化植物。



40) *Cirsium hida-paludosum* Kadota et Nagase ヒダキセルアザミ

岐阜県郡上郡白鳥町上在所和田山(1987, 8.11 No.29867)

岐阜県飛騨・美濃の山地湿原に生育する岐阜県固有種。和田山は西限山地。

キセルアザミに比し、頭花の幅は狭く、根出葉は細裂する。

41) *Gnaphalium spicatum* Lam. ウラジロチチコグサ

坂井郡三国町福井臨港(1991, 6.10 No.33816)

頭花は穂状につく。葉の表面は緑色無毛であるが、裏面は綿毛におおわれて白色。

1970年代に日本に入り、1983年には千葉県、兵庫県などで採集されている。

NAJADACEAE イバラモ科

42) *Najas graminea* Del. ホッスモ

坂井郡金津町後山(1991, 7.31 No.34104)

池沼などの浅水に生える沈水性の1年草。葉は対生、針状または狭線形で長さ1.5~3.0cm, 幅0.5~0.7mm, 鋭突頭, 縁に微小鋸歯が多数あり, 基部は短い葉鞘となり, 葉鞘の口部は狭三角形で耳状に突出する。福井市立自然史博物館に1933, 7.8に敦賀で採集された標本が1枚あるだけで, 戦後は誰も採集していないので絶滅かと思っていたが, この度はからずも57年ぶりに採集することが出来た。

GRAMINEAE イネ科

43) *Cynosurus echinatus* Linn. ヒゲガヤ

坂井郡三国町池上(1991, 6.1 No.34391)

地中海沿岸地方原産。円錐花序は長い芒におおわれる。小穂には明らかな2型があって, 花序の中心部には無柄の稔性小穂があり, そのまわりには有柄の不稔性の小穂がある。

44) *Festuca heterophylla* Lam. ハガワリトボシガラ

坂井郡三国町福井臨港(1991, 6.10 No.33825, 33826)

欧州, 地中海~小アジア原産。各小花の護穎の先に直立した芒を持ち, 内穎と外穎は同長。稈上の最上葉と基部の葉とは形も大きさもことなる。

45) *Microstegium japonicum* (Miq.) Koidz. var. *boreale* (Ohwi) Ohwi キタササガヤ

大野郡和泉村入谷(1991, 9.22 No.34615), 勝山市林道小原峠線終点付近(1990, 8.19 No.32743)。北海道, 本州(中北部)に生育。北地の型で, ササガヤの節に開出毛のあるもの。

46) *Polypogon monspeliensis* (L.) Desf. ハマヒエガエリ

坂井郡三国町福井新港(1991, 6.10 No.33810)

本州, 四国, 九州, 琉球に生育, 欧州, アジア, 北アフリカに分布。

ヒエガエリに比して, 芒は長く苞穎の2~3倍, 小穂の柄の幅が太く, 円錐花序はほとんど隙間がない。

CYPERACEAE カヤツリグサ科

- 47) *Bulbostylis densa* (Wall.) Hand.-Mazz. var. *capitata* (Miq.) Ohwi イトテンツキ  
 福井市下四ッ井(1991,8.26 No.34393)  
 本州(中部以西), 四国, 九州, 琉球に生育, インドネシアに分布。  
 イトハナビテンツキの花序が頭状に短縮したもので, 茎は細く糸状である。
- 48) *Carex rhynchophysa* C. A. Mey. オオカサスゲ  
 岐阜県郡上郡白鳥村上在所和田山(1987,8.11 No.33446)  
 北海道, 本州(北中部)の寒冷な湿地に生育。  
 オニナルコスゲに一見似ているが, 稈が太く, 葉幅が広く, 果囊が小さいことで区別できる。昭和8年の目録には, □ 大野郡石徹白\* とあることから, 石徹白でのみ採集されたことがわかる。戦後は採集されていないので, 53年ぶりに確認することができた。
- 49) *Carex siderosticta* Hance f. *glabra* Ohwi et Koyama ケナシタガネソウ  
 大野市荒島岳(1989,5.30 No.31199)  
 タガネソウの葉裏が無毛なもの。
- 50) *Scirpus* × *osoreyamensis* M. Kikuchi オソレヤマオトコイ  
 勝山市谷(1991,8.17 No.34209,34210,34211, 1991,9.1 No.34435,34438)  
 本州(青森県一カ所, 福井県)に生育。  
 ミヤマホタルイとカンガレイの雑種, 稈は3~4稜があり, 高さ70cm前後で太さは3mm位である。瘦果は長さ1.8mm, 幅1.3~1.5mm, 刺状花被片は瘦果の1.5~2.0倍である。
- 51) *Scirpus* × *trapezoides* Koidz. シカクホタルイ  
 勝山市谷(1991,9.1 No.34434,34437), 坂井郡金津町後山(1992,8.24 No.35999)  
 本州, 四国, 九州, 沖縄に生育。  
 ホタルイとカンガレイの雑種。稈は4~5稜, 幅3~4mm。小穂は卵円形, 柱頭は3。

LEMNACEAE ウキクサ科

- 52) *Lemna minor* Linn. コウキクサ  
 敦賀市池ノ河内(1991,11.17 No.34895)  
 根帽は鈍頭で無翼である。葉状体は倒卵形で表裏ともに緑色。

LILIACEAE ユリ科

- 53) *Kimigasa japonica* Tatewaki et Suto var. *tomentosa* Miyabe et Tatewaki ウラゲキヌ  
 ガサソウ  
 大野市二ノ峰(1987,8.3 No.29713)  
 キヌガサソウの葉裏が有毛のもの。

- 54) *Veratrum stamineum* Maxim. var. *lasiophyllum* Nakai ウラゲコバイケイ  
大野市赤兎山(1991,6.23 No.33893)  
葉の葉裏脈状に突起毛のあるもの。

ORCHIDACEAE ラン科

- 55) *Tulotis iimumae* (Makino) Hara イイムマムカゴ  
遠敷郡名田庄村一ツ谷(1956,8.12 No.35000 齊藤芳夫氏採集)  
北海道, 本州, 四国, 九州に生育。  
距は楕円形で長さ1~1.5mmと短い。唇弁は白色で舌状で長さ3mm, 基部の左右に小さい  
鋭頭の側裂片がある。
- 56) *Tulotis ussuriensis* (Regel. et Maack) Hara トンボソウ  
勝山市木根橋(1991,8.17 No.34188.:1991,9.1 No.34397)  
北海道~九州に生育, 南千島, 朝鮮, 中国, ウスリーに分布。  
距は長さ5~6mm, 唇弁は白色で長さ3~3.5mm, 基部で3裂し, 側裂片は三角形で鈍頭。  
県内では三方町雲谷山に次ぐ産地である。

参考文献

- 長田武正: 日本イネ科植物図譜 1989 平凡社  
———: 野草図鑑④ 1985 保育社  
———: 原色日本帰化植物図鑑 1976 保育社  
———: 日本帰化植物図鑑 1979 北隆館  
北村四郎・村田 源・堀 勝: 原色日本植物図鑑 草本編 I 1971 保育社  
———・———: 原色日本植物図鑑 草本編 II 1966 保育社  
———・———: 原色日本植物図鑑 草本編 III 1965 保育社  
倉田 悟・中池敏之: 日本のシダ植物図鑑 6 1990 東京大学出版会  
佐竹義輔他: 日本の野生植物 草本 I, II, III, 木本 I, II 1981~1989 平凡社  
杉本順一: 改定増補日本草本総検索誌 双子葉編, 新日本樹木総検索誌 1978 井上書店  
———: 日本草本総検索誌 単子葉編 1973 井上書店  
西川恒彦: 日本産フクジュソウの植物学的研究(第一部)1988 (第二部)1989 北海道教育大学紀要  
渡辺定路: 福井県植物誌 1989